

付属機関等の会議結果の公開 様式

会 議 名	平成27年第1回愛荘町みらい創生会議 会議結果（概要）
開 催 日 時	平成27年8月19日（水） 14：00～15：45
開 催 場 所	愛荘町役場愛知川庁舎3階第1委員会室
出 席 者	西村正司、宇山弘子、秦憲志、田中伸幸、兼房貢司、長崎弘法、北村由合美 西澤基治、大橋通孝、正木玲央奈、嶋中まさ子、野村仁美
欠 席 者	塚越秀治、河辺嘉奈子
事 務 局	宇野町長、中村副町長、林総合政策部長、上林総合政策課長、橋本主査
傍 聴 者	なし
審 議 内 容	<p>○自己紹介 別紙の委員名簿順に自己紹介</p> <p>○まち・ひと・しごと創生（地方創生）の概要について 『まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局発行）』のリーフレットに基づき概要を説明。 説明者：総合政策課</p> <p>○愛荘町の人口ビジョン（人口動向）について 愛荘町みらい創生戦略検討資料に基づき現状と課題を説明。 説明者：(株)パスコ</p> <p>○町民・学生アンケートについて 愛荘町みらい創生戦略検討資料に基づき現状と課題を説明。 説明者：(株)パスコ</p> <p>○会長・副会長の選出について 選出方法：事務局一任 選 出 者：会 長 西村 正司氏（愛荘町商工会） 副会長 秦 憲志（滋賀県立大学） ※賛成多数により決定</p>
問い合わせ先	総合政策課 担当 上林、橋本 連絡先 0749-42-7684

平成27年度 第1回 愛荘町みらい創生会議
議 事 録

1. 日 時：平成27年8月19日（水） 14:00～15:45

2. 場 所：愛荘町役場 愛知川庁舎 3階 第1委員会室

3. 出席者：

	区分	氏名（敬称略）	備考	
産業	愛荘町商工会	西村 正司	会長	
観光	愛荘町秦荘観光協会	宇山 弘子	施設長	
官公	滋賀県総務部市町振興課	熊谷 祐二	オブザーバー	(欠席)
官公	地方創生コンシェルジュ		〃	(欠席)
学識	滋賀県立大学	秦 憲志	専門調査研究員	
金融	(株)滋賀銀行	田中 伸幸		
労働	高田労働組合 本部書記長	兼房 貢司	彦根地区労働者福祉協議会	
官公	彦根青年会議所	塚越 秀治	まち活性化室長	(欠席)
労働	彦根公共職業安定所	長崎 弘法	所長	
言論	中日新聞 彦根支局	河辺 嘉奈子		(欠席)
言論	秦荘有線放送農業協同組合	北村 由合美		
一般住民	愛荘町区長会代表	西澤 基治	愛荘町愛知川観光協会会長	
一般住民	公募委員	大橋 通孝		
一般住民	公募委員	正木 玲央奈		
一般住民	公募委員	嶋中 まさ子		
一般住民	公募委員	野村 仁美		

事務局	愛荘町長	宇野 一雄	庁内推進本部本部長	
	愛荘町副町長	中村 守	庁内推進本部副本部長	
	総合政策部長	林 定信		
	総合政策課長	上林 市治		
	総合政策課 担当	橋本 庸介		

	株式会社パスコ	高島 陽平		
		山本 祥多		

4. 資料：

- ・会議次第、委員名簿、会議設置要綱
- ・まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」本編及びパンフレット
- ・(仮称)愛荘町みらい創生戦略検討資料「愛荘町の人口の現状と課題」
- ・(仮称)愛荘町みらい創生戦略人口ビジョン編
- ・町民アンケート調査結果
- ・学生アンケート調査結果

5. 議事：

1. 自己紹介
2. まち・ひと・しごと創生（地方創生）の概要
3. 愛荘町の人口ビジョン（人口動向）について
4. 町民・学生アンケートについて
5. 会長・副会長の選出について
6. その他

6. 議事要旨

(1) 開会、あいさつ

事務局：ただいまから第1回愛荘町みらい創生会議を始めさせていただきます。

会議の開催にあたりまして、愛荘町長宇野一雄がご挨拶を申し上げます。

宇野町長：みなさんこんにちは。本日はよろしくお願ひ申し上げます。第1回愛荘町未来創生会議をするにあたり、残暑厳しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。開会にあたりましてご挨拶を申し上げたいと思います。

日頃は、愛荘町の行政各般に渡りまして、ご理解、ご協力をいただいております、厚くお礼を申し上げます。また、今回皆様に愛荘町未来創生会議委員としてお願ひを申し上げますところ、お忙しい中にも関わらずご出席を快諾いただき、誠にありがとうございます。ご案内の通り、日本の人口は減少し、今後も加速的に失するものと思われ、人口減少によります消費、あるいは経済力低下は日本の経済社会に対し大きな重荷となることが予想されております。そこで国では、昨年まち・ひと・しごと創生法を制定し、併せて平成26年度補正予算が補則されました。地方による脆弱な部分に対し事業を実施することによって、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保し、まち・ひと・しごと創生は人口克服と地方創生を併せて行い、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指すものでございます。

愛荘町によりまして、2006年（平成18年）以降人口は増加傾向にありますが、2020年（平成32年）頃には減少に転じるものと予想されます。国が策定いたしました長期ビジョン・長期戦略を鑑みまして、愛荘町の人口動向を分析し、今後目指すべき動向を踏まえ、将来の展望を含めて、愛荘町人口ビジョン及び愛荘町版総合戦略を策定することといたしております。これらにつきましては、全町的な課題として取り組むものとして、愛荘町まち・ひと・しごと創生本部を設置すると共に、本町の地域課題の総合的解決と、地域の特色を生かした魅力ある持続可能な長創生を実現する手段といたしまして、皆様方のご意見を拝聴しつつ、愛荘町版総合戦略を策定するため、本会議を設置させていただいたものでございます。なお愛荘町人口ビジョン及び愛荘町総合戦略のとりまとめなどにつきましては、既に株式会社パス

コに委託をいたしております。本会議につきましては、産・官・学・金・労・言、いわゆる産業界、官公庁、学識経験者、金融機関、労働者代表、報道機関からの代表者であります11名の皆様及び一般公募3名の合計14名の皆様にお願ひし、ご意見をうかがうことといたしております。

いずれにいたしましても、愛荘町版総合戦略は、ただ業者が作成するものではなく、本会議でございます愛荘町未来創生会議及び役場内に設置しております愛荘町まち・ひと・しごと創生本部での議論に基づき策定するものでございます。本日は第1回目といたしまして、人口動向の分析、町民・学生アンケート結果などにつきまして、ご説明を申し上げ、戦略の中身などにつきましては、次回の会議からと考えておりますので、何卒、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。限られた時間ではありますが、充分ご審議いただきますようお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局：どうもありがとうございました。

(2) 議事

事務局：委員の皆さまの委嘱でございますが、「愛荘町みらい創生会議設置要綱」を定め、国が示す産官学金労言（産業、官公、学識、金融、労働、報道）の各有識者の皆さま、あるいは住民代表として公募いたしましたところ積極的にご応募いただきました合計14名の委員の皆様方でございます。委嘱につきましてはお一人お一人お渡しするのが本位ではございますが、お許しをいただきお手元に置かせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。なお、オブザーバーにつきましては、必要に応じ参加いただくこととしておりますのでご紹介のみといたします。委員の皆さまの自己紹介をお願いいたします。

(各委員、事務局の自己紹介)

事務局：どうもありがとうございました。本来ならば、設置要綱第6条に規定に基づき、会長が会議の議長となると定めてございますが、第1回目の会議につきましては町長名で招集をいたしますことから、事務局で進行させていただきますのでよろしくお願い致します。

事務局：続きまして、まち・ひと・しごと創生（地方創生）の概要につきまして事務局よりご説明申し上げます。

(事務局よりまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」の説明)

事務局：只今のご説明に関しまして、ご意見・ご質問等はございますでしょうか。

事務局：なお今回、資料では「(仮称)愛荘町みらい創生戦略」と記載してございますが、この名称について、「(仮称)」は削除してもよいでしょうか。

全 員：異議なし。

事務局：異議なしとのことで、本計画の名称を「愛荘町みらい創生戦略」とさせていただきます。

事務局：続きまして、愛荘町の人口動向および町民・学生アンケート結果概要につきまして事務局よりご説明申し上げます。

(事務局より 愛荘町みらい創生戦略検討資料の説明)

事務局：只今のご説明に関しまして、ご意見・ご質問等はございますでしょうか。

秦 委員：資料31ページの「地域構造対策」というのは、具体的に言うとうどういうことなのでしょう。少子化対策というのはよく言われますが、地域構造対策というのがあまり聞きなれない

もので。どんな事が考えられるのかなど。

事務局：国のパンフレットの方で3ページ目の所に「今後の施策の方向」というのがあるかと思えます。ここに基本目標④とありますように、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」というような言葉がございます。ここで意識しておりますのは、愛荘町として取り組むべきまちづくりの部分だけではなくて、仕事の場など、愛荘町内だけで完結するものではないところについては、広域での地域間の連携の中で取り組んでいく事になるというところをちょっと意識した表現としております。

嶋中委員：愛荘町というのは工業誘致の可能性のない所になりつつありまして、そういう仕事を新しく創生するというのはちょっと大変だなという感じもあります。ですから、こちらで働いていただくというよりも、こちらで住まいはしてお仕事は町外ということも考えたとき、流入流出の割合というのは示されているのでしょうか。彦根なりで仕事をして、住まいはこちらに来て頂くとか、そういう方達を増やすベッドタウンとしての可能性というものはどうでしょうか。

事務局：統計的な資料として数値までは算出しておりませんが、東近江市からの転入は多いといったところはございます。

一方で、町民アンケート結果の4ページのところで、回答者の職業とどちらにお勤めかをお聞きしております。この円グラフでは愛荘町内・町外という大まかな括りにしておりますけれども、実際には具体の通勤・通学場所もお聞きしており、最も多いのは東近江市や彦根市をはじめとした近隣市への通勤・通学であり、町外の割合が6割近くに上っています。

宇野町長：嶋中委員に仰っていただいたことは、創生の施策の方向性の話になると思います。

今、国では内閣府において地方創生を進めているわけですが、各省庁間の連携というのがうまく取れていない状況にあります。国交省と農水省では、土地利用、開発と農地の改変との整合がとれてない。先日、県の首長会議に出席したのですが、小さな町が大きな工場を誘致しようとするれば、やはり今の農業というものを考え直していただいて、開発と農地の保全とを一体的に考えていかないと、町は発展していかないとというような話題となりました。国自身が考え方を見直し、開発と農地の改変を一体化することを考えていかないと、この町に仕事をといっても全然進まない、という認識に立っています。企業誘致をしようと思えばある程度土地の開発は必要であり、農地の改変も生じてくる、ということになりますので、そのあたりを今後戦略の中で検討していければと思っておりますし、一方では国に対して県の方で強くいってほしいとお願いしているところでもあります。そういった基盤づくりをきちっとしていかないと、これはひょっとしたら絵に描いた餅になるんじゃないかと危惧しています。

地域の伝統を守っていくとか、現在の商工業をより発展させるとか、ソフト部分の戦略というのは皆様方のご意見を聞きながら町として取り組むことはできるのですが、根本的に変えていこうとしたら、もう制度上変えていかないとなかなか難しいかな、と認識しています。このあたりが一番の課題として考えています。

林 部長：国の総合戦略では現在と将来の人口ピラミッドを示していますが、愛荘町の資料では将来の人口ピラミッドが示されておりません。現在と将来を比較することが重要と思うのですが、将来推計のピラミッドを示して頂くことが可能でしょうか。

事務局：年齢ごとに推計を行い、それらの合計として人口推計結果を示していますので、将来推計のピラミッドの作成は可能です。今回はお示し出来ていなかったという事でございます。

事務局：他にご意見・ご質問はありませんか。他にありましたら後ほどお願いします。

事務局：それでは続きまして、会長・副会長の選出についてお諮りします。設置要綱第5条の規定により、会長及び副会長を置き、委員の互選により定めるとありますが、いかような方法がよろしいでしょうか

西澤委員：事務局の方で選出頂ければと思います。

事務局：ただ今、事務局の方でというお話でございましたけども、皆さん方、異議はございませんでしょうか。

全 員：異議なし。

事務局：ありがとうございます。それでは事務局にて選出ということで、会長につきましては愛荘町商工会の会長である西村様をお願いしたいと思います。また副会長につきましては、滋賀県立大学の秦先生をお願いしたいと思います。如何でしょうか。

全 員：異議なし。

事務局：異議なしとのことなので、それではお二方をお願いしたいと思います。それでは急で申し訳ございませんけれども、西村会長に一言お願いします。

西村会長：只今ご指名いただきました、西村でございます。そういう役を受けるような柄ではございませんけれども、ご指名いただいた以上は、愛荘町のために何とか頑張っていきたいと思っております。

私もこの地に60年住まわせていただいています。子ども、孫もおりますが、孫たちもここでずっと商売をしていくと考えたとき、30年か40年後に、この愛荘町の創生会議の方向性が、様々な意味で先の世代に受け継がれていくのだろうなと思っており、こういう産・官・学・金・労・言と6種の団体の皆さんに来ていただきまして、色々と分野によってお話をいただく、大変素晴らしいことだと思います。皆さんの忌憚のないご意見をいただきまして、愛荘町の未来・まちづくりが成功に終わりますように、皆さんの協力をよろしく願いいたしまして、はなはだ簡単ではありますが、会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

秦副会長：僭越ですけれども、副会長を務めさせていただきます秦と申します。先ほど地区別の資料など見せていただいている、愛荘町は愛知川町と秦荘町が合併したとのことで、私も秦という姓なので縁のある地だなと思っております。皆さんご協力よろしく申し上げます。

事務局：それでは会長、副会長よろしく申し上げます。

(3) 閉会

事務局：委員の皆様、本日は熱心なご審議を頂き、ありがとうございました。

次回の会議は9月下旬から10月上旬を予定しております。既に日程調整の書類を配布させて頂いております。会長・副会長を含め、一番出席の多い日を優先したいと考えていますので、誠に申し訳ありませんが、ご了解よろしく申し上げます。

事務局：それでは、第1回目の愛荘町みらい創生会議を終えるにあたりまして、中村副町長からご挨拶を賜りたいと存じます。よろしく願い致します。

中村副町長：それでは皆様、長時間にあたりご指導いただきましてありがとうございました。

先程からご案内申し上げておりますように、この人口ビジョンと総合戦略、すなわち将来の人口目標をどれぐらいに据えて、今後5年間をどのように組み合っていくかということをご皆さんに幅広いご意見をうかがうという事をお願いしているでございます。幸い本町におき

ましては、2020年度までは人口が微増するというような推計が出ておりますけれども、一方では、地区別で見ますと、減少に転じているような地区もございます。ひょっとしたら、このカーブが急に落ちて急に減少するという事もございます。本日は客観的なデータを中心に
お示しをさせていただきましたが、次回以降はその数値を踏まえまして、忌憚のないご意見を皆様に賜りますようお願い申し上げます、閉会のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

事務局：ありがとうございました。

それでは、これをもちまして平成27年度第1回愛荘町みらい創生会議を閉会致します。本日は、長時間にわたりご審議賜り誠にありがとうございました。お帰りに際しましては、交通安全等に十分ご注意願いたいと存じます。